

## 呼吸器装着中の在宅療養患者を在宅と病院で一緒に支えよう

### ～家族向けパンフレットを活用して～

呼吸器を装着後も、医療や介護の関係者から支援を受けながら、家で過ごしたいと希望を持っておられる方が、安心して在宅療養ができるようになるために、今回研修会を開催します。

市民病院の救急看護認定看護師と訪問看護師が協働して作成した「気管切開による在宅人工呼吸器療法を行う患者・家族の方へ」のパンフレットを基に、在宅で呼吸器を装着している人に対して、病院・介護保険関係者・家族の相互共通理解を目指しています。

日時：平成30年10月24日（水）18時～19時

場所：豊川市民病院講堂

講師：佐藤救急認定看護師・堀川訪問看護師

参加対象：医療機関職員・介護保険関係事業者関係職員

主催：豊川市退院調整担当者会

- 研修はデモストレーションの形式です。
- パンフレットを基に、患者家族への指導方法・理解の確認方法・評価時のチェック方法についてデモを行います。
- 参加者には見学しながら自由に質問ができる会場作りとします。

※ お問い合わせ・FAX送信先：在宅医療サポートセンター（担当：岩間） ☎56-7011 FAX56-7012

#### 参加申込書

締切：10月17日（水）

「医療・介護合同研修会」に参加します。

事業所名 \_\_\_\_\_

ご芳名（複数名記入可）

氏名 \_\_\_\_\_

職種 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

職種 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

職種 \_\_\_\_\_

## 平成30年度第2回医療・介護合同研修会の要旨

救急認定看護師：人工呼吸器を行う患者・家族向けのパンフレットを作成をした目的は、患者・家族が安心して日常生活が送れること、そして、家族が患者のケアを行える手助けができることである。パンフレットを活用しながら、病院から在宅へ、在宅からレスパイト病院へと連携が行えることである。

訪問看護師：訪問看護師は、呼吸器をつけて帰られる患者を看ているが、どのような指導が病院でされているのかわからないために、病院へ問い合わせをすることが多々ある。このパンフレットを作成するにあたり、病院と何回も意見交換を経て、今日に至った。今後スムーズな連携が進み、在宅でも病院でも安心して生活が出来るように、その流れを皆さんにも知ってほしいと思い研修会を企画した。

救急認定看護師：同じパンフレットを活用して、入院中に患者・家族に説明をし、退院日近くには訪問看護師に送り、在宅に帰ってからは訪問看護師から家族に確認を行うという、一連の流れをこれから見てもらう。

今回は時間が限られているので、「体位変換」と「人工呼吸器の日常の点検」をテーマに見てもらう。

訪問看護師：パンフレットの内容量は多いが、教科書と受け止め、振り返りながら活用してほしい。この機会に、病院と在宅とで、この様なやり取りがされていることを知ってもらいたい。

### 【場面設定と役柄】

職員：患者 家族 病院看護師2名 訪問看護師1名

#### ①病院での一場面

- ・体位変換について家族に説明をする。（パンフレットP14を参照）
- ・体位変換の必要性について説明する。
- ・看護師2名で体位変換を行う方法を見てもらう。
- ・看護師1名と家族の2名で行う方法を説明し、家族に実際に行ってもらおう。
- ・人工呼吸器の日常点検の仕方を説明し、実際に行ってもらおう。（パンフレットP14・15を参照）別紙の点検表にチェックしてもらう。

#### ②病院で、看護師から訪問看護師に送りをする場面

#### ③在宅に帰られてから、訪問看護師が初めて訪問した場面

- ・人工呼吸器の日常点検を家族と共に確認する。（パンフレットP14・15を参照）
- ・看護師が1名で体位変換を行う方法をやって見せる。
- ・家族に1名で体位変換をやってもらう。

## 「第2回医療・介護合同研修会」アンケート結果

豊川市医師会在宅医療サポートセンター  
岩間 三枝子

実施日:平成30年10月24日

参加者:95名

回答者:86名

回答率:90.5%

### 1. (1)参加者所属団体名及び人数の内訳

①介護保険関係事業者 30名

(ケアマネジャー 19名・介護士 1名・管理者 1名・訪問看護師 7名  
管理栄養士 1名・社会福祉士 1名)

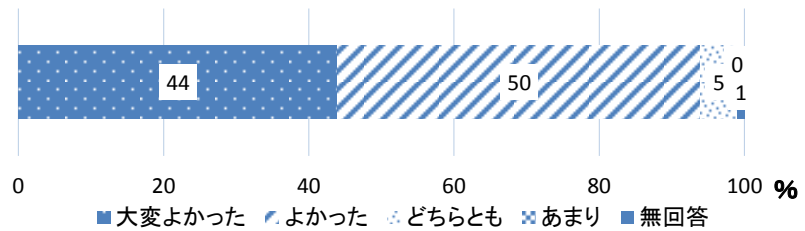
②医療機関関係職員 65名

(医師 1名・看護師 48名・MSW、相談員 10名・ケアマネジャー1名  
コンダクター 1名・理学療法士 1名・放射線技師 1名・臨床工学士 2名)

### 2. 「呼吸器装着中の在宅療養者を在宅と病院で一緒に支えよう」について

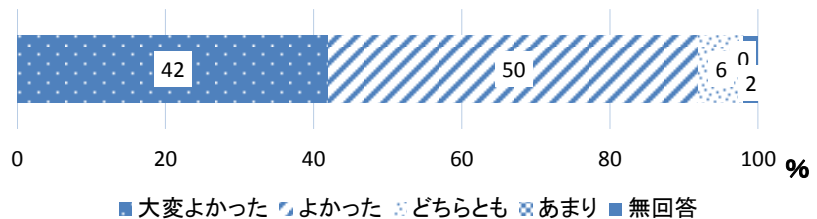
#### ①全体として

大変よかった	38人
よかった	43人
どちらとも	4人
あまり	0人
無回答	1人



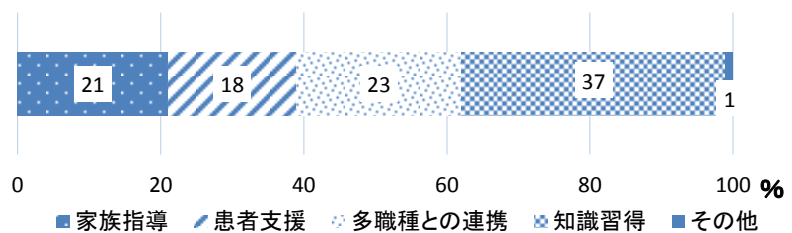
#### ②内容は?

大変よかった	36人
よかった	43人
どちらとも	5人
あまり	0人
無回答	2人



### 3. 今回の研修に何の目的で参加しましたか。

家族指導	32人
患者支援	28人
多職種連携	35人
知識習得	57人
その他	1人

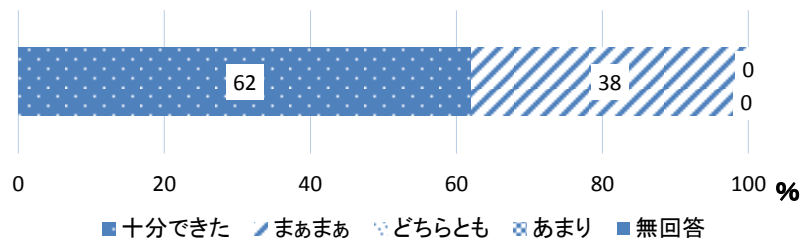


上記以外の目的

- ・上司の勧め。

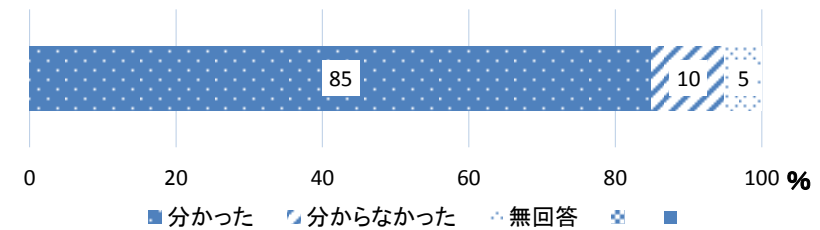
4. 家族向けのパンフレットの活用の仕方は理解はできましたか。

十分できた	53人
まあまあ	33人
どちらとも	0人
あまり	0人
無回答	0人



5. 知りたいと思っていたことは分かりましたか。

分かった	73人
分からない	9人
無回答	4人



分からなかったと回答した方は、知りたかった内容をお書きください。

【医療関係】

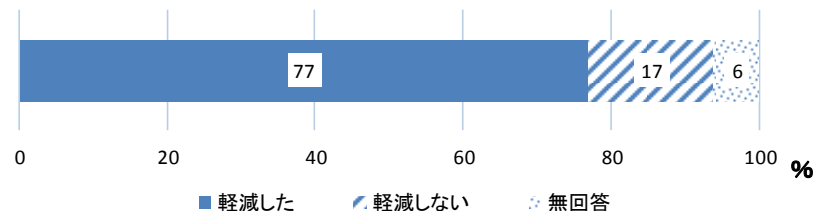
- ・人工呼吸器についての詳細がもっと聞きたかった。
- ・バッテリーの充電時間と使用可能時間。
- ・吸引等手技について、どのような説明をしたらご家族が理解しやすいか、訪問NSとのズレがないか等、指導方法、ポイントが分かると良かったです。
- ・吸引の所もやって欲しかった。

【介護関係】

- ・吸引についての話があると良かったと思います。
- ・現実的に行っていないので、知りたいと思うことが分からなくてごめんなさい。
- ・どこまでが家族が行う事で、どこからが医療（専門職の方）にお願いすることか、知りたかった。
- ・人工呼吸器/吸引指導の説明が知りたかった。

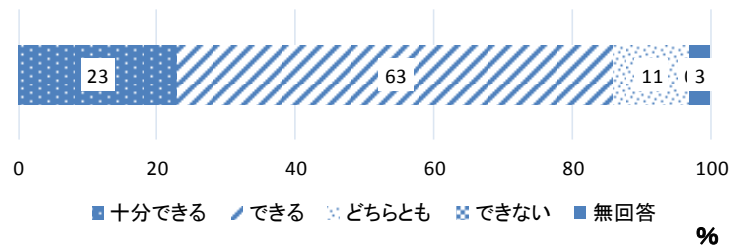
6. 呼吸器への不安は軽減しましたか。

軽減した	66人
軽減しない	15人
無回答	5人



7. 達成度チェック表をうまく活用できそうですか。

十分できる	20人
できる	54人
どちらとも	9人
できない	0人
無回答	3人



8. その他、感想・自由意見等がありましたら、何でもお書きください。

【医療関係】

- ・お疲れ様でした。
- ・入院中の退院指導で体位交換を一人でやれるような視点があって、入院時より一人での体位交換の指導が出来ることより良いということですね。
- ・意見の中でもありましたが、病院だと体位交換は二人で行うという意識が根付いているので、「在宅では一人」と言う事が、指導の中で意識的に関われるきっかけになると思います。佐々木先生の言われた母親のこだわりのやり方ということが、院内の事例としてありました。家族指導、教育と言うことで役立てられるといいなと思いました。
- ・もう少し呼吸器の仕組み等の説明があると良いと思いました。
- ・病院でも、在宅でも、同じパンフレットに沿って説明指導が可能なのは、ご家族としては安心だと思います。後日、読み込ませて頂きたいと思います。ありがとうございました。
- ・すごく分かりやすく良かったと思う。もっともっと詳しく、それからの説明する所等も知りたい。
- ・自宅での体位変換は大変な動作だと思いますが、エアーマットを使用することでの夜間等の負担軽減は大切と思いました。
- ・家族は専門用語を理解しているとは思いますが、説明に専門用語が多かったと思う。  
訪問看護の説明はとても分かりやすかった。
- ・チェック表を活用する事で、どこまで理解出来ているか、すぐ分かる為とても良いと思いました。
- ・呼吸器が外れるとアラームがずっと鳴るものがあると聞きました。デモを見て、在宅介護の大変さを感じました。
- ・佐々木先生が言っていた様に、在宅になると独自のやり方になっていく方が多いので、連携をとって、訪問NSに正しいやり方を定期的にチェックしてもらおう体制が良いと思う。
- ・機器の操作についての不安はあります。
- ・共通したもので指導/確認ができ、パンフレットがより良いものになると良いと思います。家族の不安は決して無くなる事は無いと思います。災害について書面だけでなく、実際に蘇生バックやカニューレ等に触れる機会があってもいいかなと思いました。
- ・呼吸器のアラーム対応についての指導は、どうするのか知りたい。
- ・大変分かりやすかったです。
- ・実際の活用方法/場面が分かりとても良かった。パンフレットがどのように使われるのかが、見本として理解出来た。
- ・看護師一年目でパンフレットの内容は難しいなと思いましたが、デモンストレーションの様に活用するととても分かりやすかったです。統一されたパンフレットがあれば、誰が指導しても同じ指導が出来るのでとても良いと思いました。

- ・人工呼吸器を装着したまま退院する方に当たった事は無いのですが、もし対象者がいたら、今回のパンフレットを是非利用したいと思いました。ありがとうございました。
- ・パンフレット内容がとても分かりやすいが量が膨大で、理解するまでに時間がかかり、家族の不安が大きくなるかなと思いました。でも、説明の中で「教科書として」と言っていたので、教科書としてなら、不安も軽減し受け入れやすくなると考え直しました。
- ・フィリップスさんと、紫色の部分からエアーが出る為、その位置を上にする等、項目を追加して欲しいです。項目に根拠を追加して欲しいです。faが何故それをしなきゃいけないのか分かってもらう為です。
- ・体位交換/呼吸器設定以外の内容もあると良いと思いました。
- ・ありがとうございました。今後、臨床工学科としてもお役に立てる事があればと思います。
- ・誤嚥予防の為、体位変換する前に、必ず、回路内の結露を捨てた方が良いです。
- ・気切、人工呼吸器の患者様は、対応したことはありませんが、在宅酸素を元々やっていた方が施設に入所するまでに対応する程度だった為、勉強になりました。在宅では、ご家族様が体交される事や、様々な事を行わなければならない事を知りました。これからの仕事に役立てて行きたいと思います。
- ・呼吸器を始め機械類は、実際に触って扱っていかないと不安は軽減しませんが、とても勉強になりました。復習にもなりました。ターミナルケアや感染症の勉強会も開いて頂けたらと思います。
- ・病院とは違う、自宅での介護の方法を知ることが出来て、良かった。出来れば、吸引の部分もやって欲しかった。
- ・今後ともよろしく願い申し上げます。実技の実演が分かりやすかったです。

#### 【介護関係】

- ・患者、家族中心にチームを組み、統一されたやり方で支援される事で、不安が安心に変わると思う。
- ・パンフレットについて、写真が多く分かりやすかった。
- ・デモを行ってくれたので、とても分かりやすかったです。退院から在宅への流れ(指導)が実際に見られて良かったです。スタッフ研修会で活用させていただきます。
- ・パンフレットには手技が絵で描かれているので分かりやすい。チェックは毎日在宅でやるのは困難かもしれないが、自宅に帰ってから見直せるのはとても良いと思った。  
緊急時の対応/排痰方法が分かるのもっと良かった。
- ・気管内吸引。排痰、ドレナージ、カフアシスト、蘇生バッグの使用方法等も教えて頂きたいです。パンフレットは写真入りで分かりやすいです。完成させて頂きたいです。
- ・自宅で自分の家族の対応をする事になったとしたら、家族の中で主となる介護者だけでなく複数で説明を受ける事も大切だと思った。
- ・酸素会社の担当の方の緊急連絡先もケアプラン1表に記載する必要があると感じました。
- ・病院と在宅の連携が大切であり家人の理解がチェック表で確認できる事は、大変良いと思います。
- ・症例が無い為、経験を照らし合わせる事は出来なかったが、この先症例があれば、今日の研修の事を生かせるようにしたいと思いました。
- ・病院から在宅までの移動時の場面がなかったので、家族としても不安なのは、と思う。
- ・今まで経験がないので、すべてが新しく覚えていかなければならないと思いました。テキストがある事で、見直す事も出来るので助かります。  
以前、人工呼吸器の方の依頼があったのですが、お断りしてしまいました。今後は少しでもご家族の力になれるよう勉強していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・実演して下さることで、理解度が増しました。

- ・実際には人工呼吸器を取り扱ったこともないので、まずは取扱い方法を学び理解する必要があると感じました。在宅でのフォローが出来るように、このような研修に積極的に参加していきたいです。ありがとうございました。
- ・在宅での個々の条件(関わる家族の理解度や人数等)で指導して頂くと良いと感じました。
- ・直接、人工呼吸器を触る事や家族に指導することは無いが、知識として持っている事で、本人を理解し家族を理解出来る事に大きくつながると思う。呼吸器を使う難病の方を支援することも増してきており、とても参考になった。
- ・在宅に帰るのを決めるのは、大変な事と思います。分からない事は、家族の方と共に繰り返し勉強していくことが大切と思いました。
- ・吸引について、手技も含めて知りたかったので、資料配付がとても役に立ちました。カラーで分かりやすく、自宅での勉強資料にさせていただきます。
- ・とても分かりやすく指導がされていた。在宅で対応するヘルパーや入浴サービスなども基本的な知識が持てると不安が少なくなり、安心して介護サービスを提供できると思う。
- ・パンフレット作成に力を注いでくれたスタッフの方、ご苦労様でした。
- ・実演により、理解しやすかったです。

以上





